

平成十六年八月二十四日受領
答弁第一二二九号

内閣衆質一五九第一二九号

平成十六年八月二十四日

内閣総理大臣 小泉純一郎

衆議院議長 河野洋平殿

衆議院議員近藤昭一君提出国土交通省中部地方整備局管内の一級河川における河川法第十六条及び第十六条の二に係る河川整備基本方針・河川整備計画策定状況と流域委員会等の設置に関する質問に対し、別紙
答弁書を送付する。

衆議院議員近藤昭一君提出国土交通省中部地方整備局管内の一級河川における河川法第十六条及び第十六条の二に係る河川整備基本方針・河川整備計画策定状況と流域委員会等の設置に関する質問に対する答弁書

一の(一)の①について

狩野川水系、豊川水系及び櫛田川水系(以下「狩野川等三水系」という。)に係る河川法の一部を改正する法律(平成九年法律第六十九号)による改正前の河川法(昭和三十九年法律第六十七号)第十六条第一項に規定する工事实施基本計画(以下「工事实施基本計画」という。)及び河川法(以下「法」という。)第十六条第一項に規定する河川整備基本方針(以下「河川整備基本方針」という。)についてのお尋ねの事項は、それぞれ別紙一のとおりであり、狩野川等三水系に係る工事实施基本計画と河川整備基本方針とでお尋ねの事項に違いはない。

一の(一)の②について

狩野川等三水系に係る河川整備基本方針の策定に当たり、法第十六条第三項の規定に基づき、あらかじめ意見を聴いた社会資本整備審議会(平成十二年以前にあっては、河川審議会)の開催年月日は、それぞれ

れ別紙二のとおりである。

一の（二）について

国土交通省中部地方整備局（以下「中部地方整備局」という。）管内で河川整備基本方針が未策定の一級河川である大井川水系、菊川水系、天竜川水系、矢作川水系、庄内川水系、木曾川水系、鈴鹿川水系、雲出川水系及び宮川水系については、これまで、河川整備基本方針の策定に必要な調査、調査結果の分析等を行ってきたところであり、今後とも、河川法施行令（昭和四十年政令第十四号。以下「令」という。）第十条に規定する準則にのっとり、引き続き、その策定に向けて取り組んでまいりたい。

二の（一）について

中部地方整備局管内の一級河川におけるダムの諸元等は、別紙三のとおりである。

二の（二）について

中部地方整備局管内の一級河川におけるダム以外の洪水調節施設の諸元等は、別紙四のとおりである。

また、河川の洪水調節は、ダムを含めた洪水調節施設を計画的に設置・運用することにより行われるものであり、ダム以外の洪水調節施設のみにより必ず必要な洪水調節が可能となるものではない。

二の(三)について

洪水調節施設による洪水調節は、各河川の状況や地域の実情等を総合的に考慮し、下流の計画基準点に対し目標とする洪水調節効果を確実に上げることが必要であり、洪水調節施設の計画の立案に当たっては、河川環境に配慮するとともに、当該河川の洪水流出の特性、調節効率、操作の確実性、維持管理の容易性等を考慮することとしているものである。

三について

お尋ねの中部地方整備局のホームページにおける「流域委員会」とは、法第十六条の二第一項に規定する河川整備計画（以下「河川整備計画」という。）の策定に際し、河川に関し学識経験を有する者から、河川整備に関する意見を聴く方法として、中部地方整備局が任意に設置しているものである。なお、当該流域委員会は、関係住民の意見を反映させるために必要な措置として設置しているものではない。

四の(一)の①のアについて

「豊川の明日を考える流域委員会」は、中部地方整備局が、その管理する区間に係る豊川水系の河川整備計画（以下「豊川に係る河川整備計画」という。）の策定に際し、河川に関し学識経験を有する者の中

から、豊川に係る河川整備の現状や将来像を含め、豊川の河川整備に関する意見を聴くために設置したものである。

四の（一）の①のイについて

「豊川の明日を考える流域委員会」の委員は、河川に関し学識経験を有する者の中から、中部地方整備局長が選定しており、その氏名は、別紙五のとおりである。

四の（一）の②について

豊川に係る河川整備計画の案を作成した際に、法第十六条の二第四項に規定する関係住民の意見を反映させるために必要な措置として、中部地方整備局豊橋河川事務所のホームページにおける案の公開及び意見募集、案のパンフレットに添付された返信用の封書による意見募集並びに関係地域における地区別意見交換会の開催を実施したところである。

四の（二）の①について

狩野川水系、安倍川水系、天竜川水系、矢作川水系、庄内川水系及び櫛田川水系のうち中部地方整備局が管理する区間（以下「狩野川等六河川」という。）について、流域委員会を設置する以前に、狩野川等

六河川の河川整備に関する意見を聴くために設置した懇談会等の名称等は、それぞれ別紙六のとおりである。また、委員は、河川に関し学識経験を有する者の中から、中部地方整備局が選定している。

四の(二)の②について

狩野川等六河川について、流域委員会を設置する以前に、その必要な準備のために設置した会議（以下「準備会議」という。）の開催年月日及び委員の氏名は、それぞれ別紙七のとおりである。また、委員は、河川に関し学識経験を有する者の中から、中部地方整備局長が選定している。

四の(二)の③について

安倍川水系、天竜川水系、矢作川水系、庄内川水系及び櫛田川水系のうち中部地方整備局が管理する区間に係る準備会議が、それぞれの流域委員会の委員候補者を公募したところである。当該準備会議における流域委員会の委員候補者の公募は、それぞれの準備会議の事務を担当している中部地方整備局の事務所のホームページ、新聞広告、折り込みチラシ、市町村広報誌、ポスター、記者発表等の活用により周知を図った上で、実施したところである。また、委員候補者の選定については、準備会議が判断し、選定している。

公募以外の委員は、河川に関し学識経験を有する者の中から、中部地方整備局長が選定しているが、より幅広い候補者から委員を選定するため、準備会議という河川管理者とは別の主体により推薦された者の中から、中部地方整備局長が選定することとしたものである。

四の(二)の④について

狩野川等六河川に係る流域委員会の委員の氏名は、それぞれ別紙八のとおりである。

四の(二)の⑤について

狩野川等六河川に係る流域委員会の開催年月日及び主要な議題は、それぞれ別紙九のとおりである。

四の(二)の⑥について

狩野川等六河川に係る河川整備計画の案は、平成十六年八月一日現在、いずれもいまだ作成していない。

四の(三)について

狩野川等六河川に係る河川整備計画の案の作成に際しての法第十六条の二第四項に規定する関係住民の意見を反映させるために必要な措置については、平成十六年八月一日現在、いずれもいまだこれを講ずる段階に至っていないが、河川整備計画の策定のための作業の進捗状況を踏まえ、今後、実施する予定であ

る。

四の(四)の①及び②について

大井川水系、菊川水系、木曾川水系、鈴鹿川水系、雲出川水系及び宮川水系のうち中部地方整備局が管理する区間（以下「大井川等六河川」という。）については、これまで、河川整備計画の策定に必要な調査、調査結果の分析等を行ってきたところであり、今後とも、令第十条に規定する準則にのっとり、引き続き、その策定に向けて取り組んでまいりたい。

四の(四)の③について

大井川等六河川について、流域委員会を設置する以前に、大井川等六河川の河川整備に関する意見を聴くために開催した懇談会等の名称等は、それぞれ別紙十のとおりである。

なお、御指摘の「木曾三川を語るフォーラム」及び「夢の郷プロジェクト」は、木曾三川に関する関係住民との協働及び日常的な広報のため開催したものであり、河川整備計画の策定に直接関係するものではない。

四の(四)の④について

大井川等六河川に係る河川整備計画の策定のための作業の進捗状況から、流域委員会の設置に至っていないものである。

五の（一）について

中部地方整備局管内における一級河川の指定区間に係る河川整備計画についてのお尋ねの事項は、それぞれ別紙十一のとおりである。

五の（二）について

都道府県知事が一級河川の指定区間に係る河川整備計画を策定する場合には、法第七十九条第一項及び令第四十五条第一号により国土交通大臣の認可を受けなければならないこととされており、その際、必要な指導、助言を行うこととしている。

また、平成十年一月二十三日付けで、建設省（当時）から各都道府県土木主管部長等に対し、河川整備計画で定める事項及び策定の手続に係る留意事項について通知したところである。

		ア. 策定又は変更年月日(注)	基本高水			オ. 計画高水流量	カ. 洪水調節施設の名称
			イ. 計画規模	ウ. 計画基準点名	エ. 基本高水のピーク流量		
狩野川水系	工事実施基本計画	昭和43年 2月 8日	昭和33年9月洪水を主要な対象洪水	大仁	4,000m ³ /s	4,000m ³ /s	—
	河川整備基本方針	平成12年12月19日	昭和33年9月洪水等の既往洪水	大仁	4,000m ³ /s	4,000m ³ /s	—
豊川水系	工事実施基本計画	昭和46年 3月26日	年超過確率150分の1	石田	7,100m ³ /s	4,100m ³ /s	—
	河川整備基本方針	平成11年12月1日	年超過確率150分の1	石田	7,100m ³ /s	4,100m ³ /s	—
榑田川水系	工事実施基本計画	平成 6年 6月 8日	昭和34年9月洪水を主要な対象洪水	両郡橋	4,800m ³ /s	4,300m ³ /s	蓮ダム(既設)
		昭和43年 2月 8日	昭和34年9月洪水を主要な対象洪水	両郡橋	4,800m ³ /s	4,300m ³ /s	—
	河川整備基本方針	平成15年10月2日	昭和34年9月洪水等の既往洪水	両郡橋	4,800m ³ /s	4,300m ³ /s	蓮ダム(既設)

(注)「変更」は、計画規模、計画基準点名、基本高水のピーク流量、計画高水流量又は洪水調節施設に係る部分の変更に限る。

別紙二

	名称	開催年月日
狩野川水系河川整備基本方針	河川審議会	平成12年 9月13日
	河川審議会	平成12年10月20日
	河川審議会	平成12年11月21日
	河川審議会	平成12年12月19日
豊川水系河川整備基本方針	河川審議会	平成11年11月 5日
	河川審議会	平成11年12月 1日
櫛田川水系河川整備基本方針	社会資本整備審議会 河川分科会	平成15年 6月23日
	社会資本整備審議会 河川分科会	平成15年 7月18日
	社会資本整備審議会 河川分科会	平成15年10月 2日

(注) 社会資本整備審議会令(平成12年政令第299号)第12条及び社会資本整備審議会運営規則第8条第2項の規定により、社会資本整備審議会河川分科会の議決を同審議会の議決とすることとされている。

ダム名称		長島ダム	美和ダム	小浜ダム	新豊根ダム	箕輪ダム
位置	水系	大井川	天竜川	天竜川	天竜川	天竜川
	河川名	大井川	三峰川	小浜川	大入川	沢川
地名	左岸	静岡県榛原郡本川根町 大字梅地地先	長野県上伊那郡高遠町 大字勝間地先	長野県下伊那郡松川町 大字生田地先	愛知県北設楽郡豊根村 大字古真立字月代地先	長野県上伊那郡箕輪町 長岡新田地先
	右岸	静岡県榛原郡本川根町 大字犬間地先	長野県上伊那郡長谷村 大字非特地先	長野県上伊那郡中川村 大字大草地先	愛知県北設楽郡豊根村 大字古真立字後山地先	長野県上伊那郡箕輪町 長岡新田地先
事業主体(注1)		国土交通省	国土交通省	国土交通省	国土交通省	長野県
集水面積(km ²)		534.3	311.1	288.0	136.3	38.2
¹⁾ 湛水面積		2.33	1.79	1.67	1.56	0.45
総貯水容量(1,000m ³)		78,000	29,952	58,000	53,500	9,500
有効貯水容量(1,000m ³)		68,000	20,745	37,100	40,400	8,300
²⁾ 埋砂容量(1,000m ³)		10,000	6,586	20,000	5,900	1,200
目的と容量(注2)	洪水期 (1,000m ³)	洪水調節:47,000 不特定容量:6,300 かんがい:2,800 水道用水:11,900	洪水調節:13,400 不特定容量:4,000 発電:10,353	洪水調節:35,300 かんがい:1,800 発電:3,200	洪水調節:10,500 発電:34,300	洪水調節:4,500 不特定容量:300 水道用水:3,500
	非洪水期 (1,000m ³)	洪水調節:20,000 不特定容量:26,300 かんがい:3,200 水道用水:18,500	洪水調節:13,400 不特定容量:4,000 発電:20,745	洪水調節:8,000 かんがい:1,800 発電:29,100	洪水調節:6,100 発電:40,400	洪水調節:4,500 不特定容量:300 水道用水:3,500
ダム形式		重力式コンクリートダム	重力式コンクリートダム	アーチ式コンクリートダム	アーチ式コンクリートダム	重力式コンクリートダム
堤高(m)		109.0	69.1	105.0	116.5	72.0
堤長(m)		308.0	367.5	293.3	311.0	297.5
堤頂高(標高. m)		482.0	817.6	620.0	476.5	862.0
堤体積(1,000m ³)		861.0	285.7	310.9	374.8	307.4
常時満水位(標高. m)		470.0	815.0	613.0	474.0	846.5
最低水位(標高. m)		432.0	796.5	588.7	435.0	826.0
ダム地点計画高水流量(m ³ /s)		6,600	1,200	1,500	1,800	280
調節量(m ³ /s)		1,600	700	1,000	1,100	230
計画最大放流量(m ³ /s)		5,000	500	500	700	60
ダム設計洪水流量(m ³ /s)		6,800	1,200	2,160	2,160	730
総事業費(百万円)		167,000	3,156	8,330	9,707	28,520
単価算出時点		平成13年度	昭和34年度	昭和44年度	昭和48年度	平成4年度
完成(予定)年度		平成13年度	昭和34年度	昭和44年度	昭和48年度	平成4年度
事業進捗率(%) (注3)		-	-	-	-	-
事業段階		完成	完成	完成	完成	完成
建設に要する費用の負担者 及び負担割合(目的)		国土交通省:64.0% (洪水調節、不特定容量) 静岡県:2.1% (かんがい) 大井川広域水道企業団: 33.9% (水道用水)	国土交通省:76.9% (洪水調節、不特定容量) 長野県:23.1% (発電)	国土交通省:97.2% (洪水調節) 長野県:0.3% (かんがい) 長野県:1.2% (発電) 中部電力株式会社: 1.3% (発電に係る受益者負担 金)	静岡県:11.1% (洪水調節) 電源開発株式会社: 88.9% (発電)	長野県:69.5% (洪水調節、不特定容量) 上伊那広域水道用水企 業団:30.5% (水道用水)
水没(予定)戸数(戸)		43	105	58	82	37
備考						

ダム名称			横川ダム	松川ダム	片桐ダム	三峰川総合開発 (戸重ダム)	下諏訪ダム
位置	水系		天竜川	天竜川	天竜川	天竜川	天竜川
	河川名		横川川	松川	松川	三峰川	東俣川
	地名	左岸:	長野県上伊那郡辰野町 大字横川字入谷地先	長野県飯田市上飯田地 先	長野県下伊那郡松川町 上片桐地先	長野県上伊那郡長谷村 大字浦地先	長野県諏訪郡下諏訪町 東俣地先
右岸:		長野県上伊那郡辰野町 大字横川字入谷地先	長野県飯田市上飯田地 先	長野県下伊那郡松川町 大島地先	長野県上伊那郡長谷村 大字杉島地先	長野県諏訪郡下諏訪町 東俣地先	
事業主体(注1)			長野県	長野県	長野県	国土交通省	長野県
集水面積(km ²)			38.8	60.0	15.1	未確定	18.6
湛水面積(km ²)			0.14	0.29	0.10	未確定	0.14
総貯水容量(1,000m ³)			1,860	7,400	1,840	未確定	2,650
有効貯水容量(1,000m ³)			1,570	5,400	1,310	未確定	2,050
堆砂容量(1,000m ³)			290	2,000	530	未確定	600
目的と容量(注2)	洪水期 (1,000m ³)	洪水調節:1,420 不特定容量:150	洪水調節:3,300 不特定容量:1,800 水道用水:1,300	洪水調節:890 不特定容量:320 水道用水:100	未確定	洪水調節:1,480 不特定容量:200 水道用水:370	
	非洪水期 (1,000m ³)	洪水調節:1,420 不特定容量:150	洪水調節:3,300 不特定容量:1,800 水道用水:1,300	洪水調節:890 不特定容量:320 水道用水:100	未確定	洪水調節:900 不特定容量:480 水道用水:670	
ダム形式			重力式コンクリートダム	重力式コンクリートダム	重力式コンクリートダム	未確定	重力式コンクリートダム
堤高(m)			41.0	84.3	59.2	未確定	71.0
堤長(m)			282.0	165.0	250.0	未確定	261.0
堤頂高(標高, m)			918.6	689.3	909.2	未確定	1,061.0
堤体積(1,000m ³)			105.0	263.2	210.5	未確定	301.0
常時満水位(標高, m)			903.0	678.5	896.9	未確定	1,049.5
最低水位(標高, m)			900.5	860.0	884.0	未確定	1,035.0
ダム地点計画高水流量(m ³ /s)			210	440	210	未確定	100
調節量(m ³ /s)			100	240	94	未確定	80
計画最大放流量(m ³ /s)			125	200	145	未確定	31
ダム設計洪水流量(m ³ /s)			740	560	380	未確定	440
総事業費(百万円)			9,249	3,835	13,876	未確定	24,000
単価算出時点			昭和61年度	昭和49年度	平成元年度	未確定	平成9年度
完成(予定)年度			昭和61年度	昭和49年度	平成元年度	未確定	未定
事業進捗率(%) (注3)			-	-	-	未確定	8
事業段階			完成	完成	完成	建設中	建設中
建設に要する費用の負担者 及び負担割合(目的)			長野県:100.0% (洪水調節、不特定容量)	長野県:93.3% (洪水調節、不特定容量) 飯田市:6.7% (水道用水)	長野県:90.2% (洪水調節、不特定容量) 松川町:9.8% (水道用水)	未確定	長野県:95.8% (洪水調節、不特定容量) 岡谷市、下諏訪町:4.2% (水道用水)
水没(予定)戸数(戸)			4	0	0	未確定	0
備考							

ダム名称		豊科ダム	郷土沢ダム	駒沢ダム	設楽ダム	矢作ダム
位置	水系	天竜川	天竜川	天竜川	豊川	矢作川
	河川名	上川	郷土沢川	駒沢川	豊川	矢作川
	地名	左岸: 長野県茅野市豊平地先 右岸: 長野県茅野市豊平地先	長野県下伊那郡豊丘村郷土沢地先	長野県上伊那郡辰野町字小野地先	愛知県北設楽郡設楽町清崎地先 愛知県北設楽郡設楽町松戸地先	愛知県東加茂郡旭町開羅瀬地先 岐阜県恵那郡串原村開羅瀬地先
事業主体(注1)		長野県	長野県	長野県	国土交通省	国土交通省
集水面積(km ²)		22.1	未確定	未確定	未確定	504.5
湛水面積(km ²)		0.20	未確定	未確定	未確定	2.72
総貯水容量(1,000m ³)		3,150	未確定	未確定	未確定	80,000
有効貯水容量(1,000m ³)		3,030	未確定	未確定	未確定	65,000
堆砂容量(1,000m ³)		120	未確定	未確定	未確定	15,000
目的と容量(注2)	洪水期(1,000m ³)	洪水調節:2,360 不特定容量:670	未確定	未確定	未確定	洪水調節:15,000 不特定容量、かんがい:19,000 水道用水:12,000 工業用水:19,000 発電:50,000
	非洪水期(1,000m ³)	洪水調節:2,360 不特定容量:670	未確定	未確定	未確定	不特定容量、かんがい:19,000 水道用水:12,000 工業用水:19,000 発電:65,000
ダム形式		傾斜コア型ロックフィルダム	未確定	未確定	未確定	アーチ式コンクリートダム
堤高(m)		46.0	未確定	未確定	未確定	100.0
堤長(m)		850.0	未確定	未確定	未確定	323.1
堤頂高(標高、m)		1,241.0	未確定	未確定	未確定	300.0
堤体積(1,000m ³)		2,000.0	未確定	未確定	未確定	305.4
常時満水位(標高、m)		1,222.3	未確定	未確定	未確定	298.0
最低水位(標高、m)		1,214.0	未確定	未確定	未確定	261.0
ダム地点計画高水流量(m ³ /s)		250	未確定	未確定	未確定	2,300
調節量(m ³ /s)		140	未確定	未確定	未確定	1,000
計画最大放流量(m ³ /s)		35	未確定	未確定	未確定	1,300
ダム設計洪水流量(m ³ /s)		340	未確定	未確定	未確定	2,900
総事業費(百万円)		28,000	未確定	未確定	未確定	14,500
単価算出時点		平成2年度	未確定	未確定	未確定	昭和46年度
完成(予定)年度		未定	未確定	未確定	未確定	昭和46年度
事業進捗率(%) (注3)		26	未確定	未確定	未確定	-
事業段階		建設中	建設中	建設中	建設中	完成
建設に要する費用の負担者及び負担割合(目的)		長野県:95.8% (洪水調節、不特定容量) 豊科ダム開発株式会社:4.2% (流出増対策※)	未確定	未確定	未確定	国土交通省:40.8% (洪水調節、不特定容量) 愛知県:8.7% (かんがい) 中部電力株式会社:8.2% (発電) 愛知県:16.8% (水道用水) 愛知県:25.5% (工業用水)
水没(予定)戸数(戸)		5	未確定	未確定	未確定	177
備考		※流出増対策とは、流域の開発に伴い必要となる防災調節池としての機能を当該ダムに分担させることに伴い、開発者にその建設費の一部を負担させることをいう。				

ダム名称			雨山ダム	木瀬ダム	男川ダム	上矢作ダム	小里川ダム
位置	水系		矢作川	矢作川	矢作川	矢作川	庄内川
	河川名		雨山川	木瀬川	鳥川	上村川	小里川
	地名	左岸:	愛知県額田郡額田町雨山地先	愛知県西加茂郡藤岡町三箇地先	愛知県額田郡額田町大字細光地先	岐阜県恵那郡上矢作町大倉地先	岐阜県瑞浪市陶町水上地先
右岸:		愛知県額田郡額田町雨山地先	愛知県西加茂郡藤岡町木瀬地先	愛知県額田郡額田町大字滝尻地先	岐阜県恵那郡上矢作町高井戸地先	岐阜県恵那郡山岡町田代地先	
事業主体(注1)			愛知県	愛知県	愛知県	国土交通省	国土交通省
集水面積(km ²)			2.6	8.9	約9.7	未確定	55.0
湛水面積(km ²)			0.04	0.09	約0.24	未確定	0.55
総貯水容量(1,000m ³)			251	644	約3,300	未確定	15,100
有効貯水容量(1,000m ³)			222	579	未確定	未確定	12,900
堆砂容量(1,000m ³)			29	65	未確定	未確定	2,200
目的と容量(注2)	洪水期 (1,000m ³)	洪水調節:144 不特定容量:29 水道用水:49	洪水調節:450 不特定容量:60 水道用水:69	未確定	未確定	洪水調節:12,900	
	非洪水期 (1,000m ³)	洪水調節:144 不特定容量:29 水道用水:49	洪水調節:450 不特定容量:60 水道用水:69	未確定	未確定	洪水調節:9,900 不特定容量:3,000 発電:3,000	
ダム形式			重力式コンクリートダム	重力式コンクリートダム	重力式コンクリートダム	未確定	重力式コンクリートダム
堤高(m)			21.5	33.0	約45	未確定	114.0
堤長(m)			160.0	192.0	約190	未確定	331.3
堤頂高(標高, m)			276.5	204.5	未確定	未確定	404.0
堤体積(1,000m ³)			23.8	52.3	未確定	未確定	750.0
常時満水位(標高, m)			269.3	193.2	未確定	未確定	371.0
最低水位(標高, m)			265.5	188.4	未確定	未確定	353.0
ダム地点計画高水流量(m ³ /s)			41	160	160	未確定	1,100
調節量(m ³ /s)			18	65	130	未確定	840
計画最大放流量(m ³ /s)			26	110	40	未確定	310
ダム設計洪水流量(m ³ /s)			110	320	未確定	未確定	1,200
総事業費(百万円)			3,825	6,900	未確定	未確定	98,111
単価算出時点			平成8年度	平成10年度	未確定	未確定	平成15年度
完成(予定)年度			平成8年度	平成10年度	未確定	未確定	平成15年度
事業進捗率(%) (注3)			-	-	未確定	未確定	-
事業段階			完成	完成	建設中	計画中	完成
建設に要する費用の負担者及び負担割合(目的)			愛知県:93.4% (洪水調節、不特定容量) 額田町:6.6% (水道用水)	愛知県:95.8% (洪水調節、不特定容量) 藤岡町:4.2% (水道用水)	未確定	未確定	国土交通省:99.6% (洪水調節、不特定容量) 中部電力株式会社: 0.4% (発電)
水没(予定)戸数(戸)			0	0	未確定	未確定	16
備考							

ダム名称		丸山ダム	横山ダム	阿多岐ダム	岩村ダム	大ヶ洞ダム
位置	水系	木曾川	木曾川	木曾川	木曾川	木曾川
	河川名	木曾川	播磨川	阿多岐川	富田川	大ヶ洞川
地名	左岸:	岐阜県可児郡御嵩町大字小和沢字北浦山地先	岐阜県揖斐郡藤橋村東横山地先	岐阜県郡上市白鳥町阿多岐地先	岐阜県恵那郡岩村町富田地先	岐阜県下呂市萩原町大ヶ洞地先
	右岸:	岐阜県加茂郡八百津町大字八百津字安度地先	岐阜県揖斐郡藤橋村西横山地先	岐阜県郡上市白鳥町中西地先	岐阜県恵那郡岩村町富田地先	岐阜県下呂市萩原町大ヶ洞地先
事業主体(注1)		国土交通省	国土交通省	岐阜県	岐阜県	岐阜県
集水面積(km ²)		2,409.0	471.0	16.0	1.7	4.4
湛水面積(km ²)		2.63	1.70	0.14	0.02	0.04
総貯水容量(1,000m ³)		79,520	43,000	2,550	180	450
有効貯水容量(1,000m ³)		38,390	33,000	2,050	160	340
堆砂容量(1,000m ³)		7,800	10,000	500	20	110
目的と容量(注2)	洪水期(1,000m ³)	洪水調節:20,170 発電:18,220	洪水調節:22,000 かんがい:14,000 発電:14,000	洪水調節:1,550 不特定容量:500	洪水調節:80 不特定容量:61 水道用水:19	洪水調節:220 不特定容量:90 水道用水:30
	非洪水期(1,000m ³)	洪水調節:20,170 発電:18,220	かんがい:25,000 発電:33,000	洪水調節:1,550 不特定容量:500	洪水調節:80 不特定容量:61 水道用水:19	洪水調節:220 不特定容量:90 水道用水:30
ダム形式		重力式コンクリートダム	中空重力式コンクリートダム	重力式コンクリートダム	重力式コンクリートダム	重力式コンクリートダム
堤高(m)		98.2	80.8	71.4	35.8	42.5
堤長(m)		260.0	220.0	200.0	144.0	238.0
堤頂高(標高、m)		190.0	209.5	589.1	742.4	697.5
堤体積(1,000m ³)		497.0	319.8	195.2	48.2	127.4
常時満水位(標高、m)		179.8	207.5	571.5	733.3	687.1
最低水位(標高、m)		170.8	180.0	564.0	722.0	681.2
ダム地点計画高水流量(m ³ /s)		6,600	2,800	270	40	51
調節量(m ³ /s)		1,800	1,650	145	20	21
計画最大放流量(m ³ /s)		4,800	1,150	140	25	39
ダム設計洪水流量(m ³ /s)		8,200	3,840	500	75	180
総事業費(百万円)		11,283	6,200	13,389	7,098	12,091
単価算出時点		昭和30年度	昭和39年度	昭和62年度	平成9年度	平成10年度
完成(予定)年度		昭和30年度	昭和39年度	昭和62年度	平成9年度	平成10年度
事業進捗率(%) (注3)		-	-	-	-	-
事業段階		完成	完成	完成	完成	完成
建設に要する費用の負担者及び負担割合(目的)		国土交通省:7.5% (洪水調節) 関西電力株式会社: 92.5% (発電)	国土交通省:67.5% (洪水調節) 岐阜県:9.6% (かんがい) 中部電力株式会社: 22.9% (発電)	岐阜県:100.0% (洪水調節、不特定容量)	岐阜県:97.1% (洪水調節、不特定容量) 岩村町:2.9% (水道用水)	岐阜県:99.0% (洪水調節、不特定容量) 下呂市(旧萩原町):1.0% (水道用水)
水没(予定)戸数(戸)		52	60	0	0	0
備考						

ダム名称			新丸山ダム	内ヶ谷ダム	中野方ダム	水無瀬ダム	岩屋ダム	
位置	水系		木曾川	木曾川	木曾川	木曾川	木曾川	
	河川名		木曾川	亀尾島川	中野方川	水無瀬川	馬瀬川	
地名	左岸:	岐阜県可児郡御嵩町大字小和沢地先	岐阜県郡上市大和町内ヶ谷地先	岐阜県恵那市中野方町字伐跡地先	岐阜県加茂郡川辺町上川辺地先	岐阜県下呂市金山町卯野原地先		
	右岸:	岐阜県加茂郡八百津町大字八百津地先	岐阜県郡上市大和町内ヶ谷地先	岐阜県恵那市中野方町字笹場地先	岐阜県加茂郡川辺町上川辺地先	岐阜県下呂市金山町乙原地先		
事業主体 (注1)			国土交通省	岐阜県	岐阜県	岐阜県	独立行政法人水資源機構	
集水面積(km ²)			2,409.0	39.9	1.6	未確定	1,034.9	
湛水面積(km ²)			3.87	0.46	0.05	未確定	4.26	
総貯水容量(1,000m ³)			146,350	11,500	411	未確定	173,500	
有効貯水容量(1,000m ³)			105,220	9,100	371	未確定	150,000	
堆砂容量(1,000m ³)			41,130	2,400	40	未確定	13,800	
目的と容量 (注2)			洪水期 (1,000m ³)	洪水調節:72,000 不特定容量:15,000 発電:33,220	洪水調節:8,500 不特定容量:600	洪水調節:200 不特定容量:93 水道用水:78	未確定	洪水調節:50,000 かんがい、水道用水、工業用水:61,900 発電:100,000
			非洪水期 (1,000m ³)	洪水調節:72,000 不特定容量:15,000 発電:33,220	洪水調節:8,500 不特定容量:600	洪水調節:200 不特定容量:93 水道用水:78	未確定	洪水調節:50,000 かんがい、水道用水、工業用水:61,900 発電:100,000
ダム形式			重力式コンクリートダム	重力式コンクリートダム	重力式コンクリートダム	未確定	ロックフィルダム	
堤高(m)			122.5	81.7	41.7	未確定	127.5	
堤長(m)			330.0	280.0	390.0	未確定	366.0	
堤頂高(標高 m)			214.3	577.2	576.7	未確定	427.5	
堤体積(1,000m ³)			1,170.0	320.0	139.0	未確定	5,780.0	
常時満水位(標高 m)			186.3	544.5	567.6	未確定	411.0	
最低水位(標高 m)			170.8	542.0	556.8	未確定	366.0	
ダム地点計画高水流量(m ³ /s)			10,000	880	43	未確定	2,400	
調節量(m ³ /s)			4,300	690	25	未確定	2,100	
計画最大放流量(m ³ /s)			5,700	280	24	未確定	300	
ダム設計洪水流量(m ³ /s)			15,500	950	70	未確定	2,900	
総事業費(百万円)			180,000	26,000	11,500	未確定	34,340	
単価算出時点			昭和63年度	昭和57年度	平成12年度	未確定	昭和51年度	
完成(予定)年度			平成28年度	平成32年度	平成17年度	未確定	昭和51年度	
事業進捗率(%) (注3)			26	62	70	未確定	-	
事業段階			建設中	建設中	建設中	建設中	完成	
建設に要する費用の負担者及び負担割合(目的)			国土交通省:98.8% (洪水調節、不特定容量) 関西電力株式会社:1.2% (発電)	岐阜県:100.0% (洪水調節、不特定容量)	岐阜県:97.7% (洪水調節、不特定容量) 恵那市:2.3% (水道用水)	未確定	国土交通省:31.5% (洪水調節) 岐阜県:0.7% (かんがい) 中部電力株式会社: 41.7% (発電) 岐阜県、愛知県、三重 県、名古屋市:12.4% (水道用水) 岐阜県、愛知県、三重 県:13.7% (工業用水)	
水没(予定)戸数(戸)			32	0	0	未確定	157	
備考								

ダム名称			阿木川ダム	味噌川ダム	徳山ダム	君ヶ野ダム	蓮ダム
位置	水系		木曾川	木曾川	木曾川	雲出川	櫛田川
	河川名		阿木川	木曾川	携斐川	八手俣川	蓮川
	地名	左岸:	岐阜県恵那市東野字山本地先	長野県木曾郡木祖村大字小木曾地先	岐阜県揖斐郡藤村大字徳山・大字東杉原地先	三重県一志郡美杉村字橋ヶ広地先	三重県飯南郡飯高町森地先
右岸:		岐阜県恵那市東野字花無山地先	長野県木曾郡木祖村大字小木曾地先	岐阜県揖斐郡藤村大字開田・大字鶴見地先	三重県一志郡美杉村字橋ヶ広地先	三重県飯南郡飯高町森地先	
事業主体 (注1)			独立行政法人水資源機構	独立行政法人水資源機構	独立行政法人水資源機構	三重県	国土交通省
集水面積(km ²)			81.8	55.1	254.5	80.0	80.9
湛水面積(km ²)			1.58	1.40	13.00	0.80	1.20
総貯水容量(1,000m ³)			48,000	61,000	660,000	23,300	32,600
有効貯水容量(1,000m ³)			44,000	55,000	380,400	19,700	29,400
堆砂容量(1,000m ³)			4,000	6,000	279,600※	3,600	3,200
目的と容量 (注2)			洪水期 (1,000m ³)	洪水調節:12,000 不特定容量:12,000 水道用水、工業用水: 31,000 発電:43,000	洪水調節:123,000 不特定容量:115,000 (かんがい振替分32,000 含む) 水道用水、工業用水: 78,000 発電:11,400 濁水対策:53,000	洪水調節:15,800 不特定容量:1,700 水道用水:1,400 工業用水:800	洪水調節:17,000 不特定容量:5,500 水道用水:6,900 発電:12,400
			非洪水期 (1,000m ³)	洪水調節:1,340 不特定容量:22,000 水道用水、工業用水: 22,000	洪水調節:270 不特定容量:24,000 水道用水、工業用水: 31,000 発電:55,000	洪水調節:14,000 不特定容量:224,000 (かんがい振替分32,000 含む) 水道用水、工業用水: 78,000 発電:11,400 濁水対策:53,000	洪水調節:11,300 不特定容量:4,300 水道用水:2,500 工業用水:1,600
ダム形式			ロックフィルダム	ロックフィルダム	ロックフィルダム	重力式コンクリートダム	重力式コンクリートダム
堤高(m)			101.5	140.0	161.0	73.0	78.0
堤長(m)			362.0	446.9	427.1	323.0	280.0
堤頂高(標高, m)			417.5	1,130.0	406.0	162.0	319.0
堤体積(1,000m ³)			4900.0	8900.0	13700.0	331.0	484.0
常時満水位(標高, m)			412.0	1,122.5	400.0	145.0	316.0
最低水位(標高, m)			363.0	1,052.5	363.5	127.0	276.0
ダム地点計画高水流量(m ³ /s)			850	650	1,920	1,100	1,700
調節量(m ³ /s)			730	550	1,920	650	700
計画最大放流量(m ³ /s)			120	100	200	450	1,000
ダム設計洪水流量(m ³ /s)			2,000	1,400	4,200	1,320	2,800
総事業費(百万円)			107,850	161,250	350,000	5,170	83,000
単価算出時点			平成2年度	平成8年度	平成15年度	不明	平成3年度
完成(予定)年度			平成2年度	平成8年度	平成19年度	昭和46年度	平成3年度
事業進捗率(%) (注3)			-	-	70	-	-
事業段階			完成	完成	建設中	完成	完成
建設に要する費用の負担者及び負担割合(目的)			国土交通省:50.0% (洪水調節、不特定容量) 岐阜県、愛知県:20.0% (水道用水) 愛知県:30.0% (工業用水)	国土交通省:47.6% (洪水調節、不特定容量) 長野県:0.3% (発電) 岐阜県、愛知県、名古屋 市:36.0% (水道用水) 愛知県:16.1% (工業用水)	国土交通省:57.8% (洪水調節、不特定容量) 電源開発株式会社、 中部電力株式会社:14.0% (発電) 岐阜県、愛知県、名古屋 市:17.7% (水道用水) 岐阜県、名古屋市:10.5% (工業用水)	三重県:77.6% (洪水調節、不特定容量) 三重県企業庁:14.1% (水道用水) 三重県企業庁:8.3% (工業用水)	国土交通省:65.9% (洪水調節、不特定容量) 三重県:0.5% (発電) 三重県:33.6% (水道用水)
水没(予定)戸数(戸)			30	0	432	41	66
備考					※堆砂容量には、死水容量 (堆砂容量の最上面と最低水 位の間が発電等の落差を大 きくするための容量という。以 下同じ。)等を含む。		

ダム名称		宮川ダム	
位置	水系	宮川	
	河川名	宮川	
	地名	左岸:	三重県多気郡宮川村大字久豆字淺倉谷地先
右岸:		三重県多気郡宮川村大字向原地先	
事業主体(注1)		三重県	
養水面積(km ²)		125.6	
湛水面積(km ²)		2.13	
総貯水容量(1,000m ³)		70,500	
有効貯水容量(1,000m ³)		56,500	
堆砂容量(1,000m ³)		9,600	
目的と容量(注2)	洪水期 (1,000m ³)	洪水調節: 24,500 不特定容量: 7,500 ※ 発電: 32,000	
	非洪水期 (1,000m ³)	洪水調節: 6,500 発電: 50,000	
ダム形式		重力式コンクリート	
堤高(m)		88.5	
堤長(m)		231.0	
堤頂高(標高, m)		284.5	
堤体積(1,000m ³)		388.6	
常時満水位(標高, m)		280.0	
最低水位(標高, m)		240.0	
ダム地点計画高水流量(m ³ /s)		2,500	
調節量(m ³ /s)		1,000	
計画最大放流量(m ³ /s)		1,500	
ダム設計放流量(m ³ /s)		3,300	
総事業費(百万円)		3,891	
単価算出時点		不明	
完成(予定)年度		昭和32年度	
事業進捗率(%) (注3)		-	
事業段階		完成	
建設に要する費用の負担者及び負担割合(目的)		三重県: 36.3% (洪水調節、不特定容量) 三重県企業庁: 63.7% (発電)	
水没(予定)戸数(戸)		74	
備考		※不特定容量のうち、4,400千m ³ は死水容量の利用を前提としている。	

(注1) 事業段階が完成とされているダムについては、現在の管理主体を記載している。

(注2) 洪水調節に係る容量は予備放流量(洪水調節の必要があると予想される場合にあらかじめ洪水発生前に放流により空ける洪水調節のための容量をいう。以下同じ。)を、発電に係る容量は他の目的による放流を活用して行う発電に係る容量を、それぞれ含む場合があるため、目的別の容量の合計は有効貯水容量と一致しない場合がある。

(注3) 事業進捗率は、総事業費に対する平成15年度末時点における執行済み事業費の割合を示す。

別紙四

ダム以外の洪水調節施設の名称		釜口水門(諏訪湖)	柳川遊水池	占部川遊水池	砂川遊水池
位置	水系	天竜川	矢作川	矢作川	矢作川
	河川名	諏訪湖	柳川	占部川	砂川
	地名	長野県岡谷市湊地先	愛知県額田郡幸田町地先	愛知県岡崎市上和田町地先	愛知県岡崎市福岡町地先
事業主体		長野県	愛知県	愛知県	愛知県
遊水池等面積(km ²)		13.300	0.030	0.004	0.030
総貯水容量(1,000m ³)		62,987.0	60.1	12.7	65.7
有効貯水容量(1,000m ³)		22,630	-	-	-
目的と容量(1,000m ³)		洪水調節:20,600.0 ※ 不特定容量:8,000.0	洪水調節:60.1	洪水調節:12.7	洪水調節:65.7
洪水調節	洪水調節前流量(m ³ /s)	1,600	55	120	60
	洪水調節流量(m ³ /s)	1,000	20	8	16
総事業費(百万円)		9,670	550	860	520
単価算出時点		平成4年度	昭和63年度	平成5年度	平成12年度
完成(予定)年度		平成4年度	昭和63年度	平成5年度	平成12年度
事業進捗率(%) (注)		-	-	-	-
事業段階		完成	完成	完成	完成
備考		※予備放流量を含む。			

ダム以外の洪水調節施設の名称		青木川第二調節池	般若川調節池	青木川第一調節池	高雄調節池
位置	水系	庄内川	庄内川	庄内川	庄内川
	河川名	青木川	般若川	青木川	青木川
	地名	愛知県江南市宮後町地先	愛知県江南市飛高町地先	愛知県丹羽郡扶桑町地先	愛知県丹羽郡扶桑町地先
事業主体		愛知県	愛知県	愛知県	愛知県
遊水地等面積(km ²)		0.012	0.006	0.010	0.012
総貯水容量(1,000m ³)		18.0	18.3	27.6	28.0
有効貯水容量(1,000m ³)		-	-	-	-
目的と容量(1,000m ³)		洪水調節:18.0	洪水調節:18.3	洪水調節:27.6	洪水調節:28.0
洪水調節	洪水調節前流量(m ³ /s)	12	26	40	15
	洪水調節流量(m ³ /s)	2	3	5	5
総事業費(百万円)		1,000	1,200	1,250	870
単価算出時点		昭和61年度	平成6年度	平成9年度	平成14年度
完成(予定)年度		昭和61年度	平成6年度	平成9年度	平成15年度
事業進捗率(%) (注)		-	-	-	-
事業段階		完成	完成	完成	完成
備考					

ダム以外の洪水調節施設の名称		小田井遊水地	新川治水緑地
位置	水系	庄内川	庄内川
	河川名	庄内川	新川
	地名	愛知県名古屋市区山田町大字中小田井地先	愛知県名古屋市区山田町大字大野木地先
事業主体		国土交通省	愛知県
遊水地等面積(km ²)		0.490	0.180
総貯水容量(1,000m ³)		1,400.0	620.0
有効貯水容量(1,000m ³)		-	-
目的と容量(1,000m ³)		洪水調節:1,400.0	洪水調節:620.0
洪水調節	洪水調節前流量(m ³ /s)	4,090	700
	洪水調節流量(m ³ /s)	170	110
総事業費(百万円)		5,230	76,170 ※
単価算出時点		昭和61年度	昭和51年度
完成(予定)年度		未定	未定
事業進捗率(%) (注)		80.7	※
事業段階		建設中 ※	建設中
備考		※平成元年度より暫定運用中	※総事業費については、新川本川等の中小河川改修事業費を含み、新川治水緑地単独での事業進捗率は算定していない。

(注) 事業進捗率は、総事業費に対する平成15年度末時点における執行済み事業費の割合を示す。

別紙五

名称	委員の氏名
豊川の明日を考える流域委員会	尾崎安貞、神野信郎、沓掛俊夫、後藤米治、杉本かつ、中村敬一、中村俊六、早川勝、藤田佳久、光岡史郎、渡邊啓司(敬称略、50音順)

(注)平成16年8月1日現在のものである。

別紙六

河川名	懇談会等の名称	各回の開催年月日	委員の人数	主な内容
狩野川	第1回 狩野川流域懇談会 地域活性化部会	平成11年 9月29日	8	地域の特性をいかした狩野川整備の在り方について
	第1回 狩野川流域懇談会 治水部会	平成11年10月 1日	6	治水の現状と課題について
	第1回 狩野川流域懇談会 環境部会	平成11年10月20日	8	河川環境の現状と課題について
	第2回 狩野川流域懇談会 地域活性化部会	平成11年11月16日	8	地域の特性をいかした狩野川整備の在り方について
	第2回 狩野川流域懇談会 環境部会	平成11年11月23日	9	河川環境の現状と課題について
	第2回 狩野川流域懇談会 治水部会	平成11年11月26日	6	現地視察、治水の現状と課題について
	第3回 狩野川流域懇談会 治水部会	平成12年 3月 1日	6	治水の現状と課題について
	第3回 狩野川流域懇談会 地域活性化部会	平成12年 3月 3日	8	地域の特性をいかした狩野川整備の在り方について
	第3回 狩野川流域懇談会 環境部会	平成12年 3月 7日	9	河川環境の現状と課題について
	第4回 狩野川流域懇談会 地域活性化部会	平成12年 5月 2日	7	地域の特性をいかした狩野川整備の在り方について
	第4回 狩野川流域懇談会 環境部会	平成12年 5月 2日	8	河川環境の現状と課題について
	第4回 狩野川流域懇談会 治水部会	平成12年 5月12日	6	治水の現状と課題について
	狩野川流域懇談会 部会長会議	平成12年6月30日	3	全体総括
	安倍川	第1回 安倍川流域懇談会	平成13年 3月22日	13
第2回 安倍川流域懇談会		平成13年 6月14日	11	安倍川の現状とあるべき姿について
第3回 安倍川流域懇談会		平成13年 7月25日	12	
矢作川	矢作川の環境を考える懇談会	平成13年 4月13日	32	河川環境の現状と課題について
	矢作川の環境を考える懇談会	平成13年 8月10日	32	流域内の上下流の連携について
	矢作川の環境を考える懇談会	平成13年11月19日	32	まちづくりと一体となった川づくりについて
	矢作川の環境を考える懇談会	平成14年 2月19日	32	ダムと河川環境について
	矢作川の環境を考える懇談会	平成14年 5月31日	32	全体総括
櫛田川	櫛田川環境特性懇談会	平成10年 1月19日	16	環境特性の現状について
	櫛田川環境特性懇談会	平成10年 3月10日	16	櫛田川のあるべき姿について
	櫛田川環境特性懇談会	平成10年 9月 2日	16	環境特性の総括

(注1)平成16年8月1日現在のものである。

(注2)天竜川及び庄内川については、懇談会等は設置されていない。

別紙七

名称	各回の開催年月日	委員の氏名
安倍川流域委員会 準備会議	第1回 平成15年1月27日 第2回 平成15年4月22日 第3回 平成15年5月27日	板井隆彦、大坪檀、川村美智、齋藤晃、高橋裕、竹内礼子(敬称略、50音順)
天竜川流域委員会 準備会議	第1回 平成14年4月18日 第2回 平成14年5月22日 第3回 平成14年7月9日 第4回 平成14年11月27日 第5回 平成14年12月24日	板井隆彦、沖野外輝夫、北澤秋司、齋藤晃、杉山恵一、鈴木徳行、森本尚武(敬称略、50音順)
矢作川流域委員会 準備会議	第1回 平成15年3月7日 第2回 平成15年4月14日 第3回 平成15年4月25日	青山光子、駒田格知、辻本哲郎、眞継隆、光岡史郎(敬称略、50音順)
庄内川流域委員会準備委員会	第1回 平成14年9月24日 第2回 平成14年10月18日 第3回 平成14年11月8日 公募面接会 平成14年11月19日 第4回 平成14年12月10日	青山光子、加藤晃、高木不折、高原稔、前田弘司(敬称略、50音順)
櫛田川流域委員会 発足会	第1回 平成14年10月25日 第2回 平成15年1月20日	木本凱夫、関口秀夫、竹川博子、武田明正、田所照朗、谷本勢津雄、中西智子、野呂昭彦、長谷川順一、原田増造、松尾直規、宮本里美、山本亮二、渡辺寛、渡邊悌爾(敬称略、50音順)

(注1)平成16年8月1日現在のものである。

(注2)狩野川水系については、準備会議は設置されていない。

別紙八

名称	委員の氏名
狩野川流域委員会	板井隆彦、宇田倭玖子、大川清仁、大城伸彦、大橋俊二、柏木忠夫、北村眞一、小池政臣、齋藤衛、杉山恵一、芹澤伸行、太刀川弘、田中博通、土隆一、野口智子、平井弥一郎、深井満、室野克昌、望月良和、渡辺解太郎(敬称略、50音順)
安倍川流域委員会	石川たか子、板井隆彦、市川一郎、遠藤幸雄、大坪檀、川村美智、久保田妙子、小嶋善吉、齋藤晃、清水孝男、杉山恵一、高木敦子、高橋裕、竹内礼子、築地勝美、土屋智、松永信一郎、村上敏、村上光司、村田雄剛、湯浅保雄(敬称略、50音順)
天竜川流域委員会	板井隆彦、岩野大作、沖野外輝夫、北澤秋司、小杉達、齋藤晃、杉山恵一、鈴木徳行、田中秀典、辻本哲郎、堤久、中谷良作、平岡直樹、星川和俊、森本尚武、山口祐子(敬称略、50音順)
矢作川流域委員会	青山光子、伊藤勇、岡田耕一、片桐澄子、神谷金衛、小尻利治、駒田格知、澤田壽、四俵正俊、柴田紘一、鈴木公平、辻本哲郎、寺本和子、裕さくら、藤田裕一郎、藤田佳久、前田弘司、松尾直規、眞継隆、水野瑞夫、光岡史郎(敬称略、50音順)
土岐川庄内川流域委員会	安倍和俊、石川和紀、石田繪美子、内田和子、小笠原昭夫、片田敏孝、小尻利治、小菅俊洋、柴田充雄、辻淳夫、辻本哲郎、寺本和子、冨永晃宏、原田守博、松尾直規(敬称略、50音順)
櫛田川流域委員会	岩男安展、大谷幾津子、木本凱夫、下村猛、関口秀夫、竹川博子、武田明正、田所照朗、谷本勢津雄、中西智子、長谷川順一、原田増造、松尾直規、宮本里美、山本亮二、渡辺寛、渡邊悌爾(敬称略、50音順)

(注)平成16年8月1日現在のものである。

別紙九

河川名	名称	開催年月日	主要な議題
狩野川	第1回 狩野川流域委員会	平成13年2月21日	現状と課題について
	第1回 狩野川流域委員会 指定区間部会	平成13年7月31日	指定区間の現状と課題について
	第1回 狩野川流域委員会 地域活性化部会	平成14年1月22日	住民意見聴取と広報の在り方について
	第2回 狩野川流域委員会	平成14年1月29日	現地視察
	第1回 狩野川流域委員会 治水部会	平成14年7月18日	治水の現状と課題について
	第1回 狩野川流域委員会 環境部会	平成14年7月18日	環境の現状と課題について
	第3回 狩野川流域委員会	平成14年7月25日	河川整備計画策定に向けての進め方について
	第2回 狩野川流域委員会 治水部会	平成14年9月9日	河川整備計画策定に向けての進め方(治水)について
	第2回 狩野川流域委員会 指定区間部会	平成14年9月11日	指定区間における河川整備の進め方について
	第2回 狩野川流域委員会 環境部会	平成14年9月19日	河川整備計画策定に向けての進め方(環境)について
	第2回 狩野川流域委員会 地域活性化部会	平成14年10月1日	河川整備にあたっての地域住民や民間組織等との協働について
	第3回 狩野川流域委員会 指定区間部会	平成14年10月1日	指定区間における河川整備の進め方について
	第4回 狩野川流域委員会	平成16年2月23日	部会報告の総括
	第4回 狩野川流域委員会 指定区間部会	平成16年6月22日	河川整備計画の骨子案について
安倍川	第1回 安倍川流域委員会	平成15年8月27日	安倍川の概要について
	第2回 安倍川流域委員会	平成15年11月25日	現地視察
	第2回 安倍川流域委員会	平成15年12月19日	現地視察
	第2回 安倍川流域委員会	平成16年1月26日	現地視察
	第3回 安倍川流域委員会	平成16年3月19日	現状と課題について
第4回 安倍川流域委員会	平成16年7月30日	現状と課題について	
天竜川	第1回 天竜川流域委員会	平成15年2月18日	議事運営について 天竜川の概要について
	第1回 天竜川流域委員会 上流部会	平成15年2月18日	部会の議事運営について
	第1回 天竜川流域委員会 下流部会	平成15年2月18日	部会の議事運営について
	天竜川流域委員会 下流部会 現地調査会	平成15年5月21日	現地視察
	天竜川流域委員会 上流部会 現地調査会	平成15年5月28日	現地視察
	天竜川流域委員会 上流部会 現地調査会	平成15年8月8日	現地視察
	天竜川流域委員会 下流部会 現地調査会	平成15年9月2日	現地視察
	天竜川流域委員会 上流部会 現地調査会	平成15年9月24日	現地視察
	天竜川流域委員会 下流部会 現地調査会	平成15年11月17日	現地視察
	第2回 天竜川流域委員会 上流部会	平成15年11月28日	現状と課題について
	第2回 天竜川流域委員会 下流部会	平成16年1月19日	現状と課題について
	第3回 天竜川流域委員会 下流部会	平成16年3月9日	現状と課題について
	第4回 天竜川流域委員会 下流部会	平成16年6月15日	現状と課題について

河川名	名称	開催年月日	主要な議題
矢作川	第1回 矢作川流域委員会	平成15年6月30日	議事運営について 流域の概要について
	第2回 矢作川流域委員会	平成15年9月29日	現状と課題について
	第3回 矢作川流域委員会	平成16年5月21日	現状と課題(治水)について
庄内川	第1回 土岐川庄内川流域委員会	平成15年3月3日	議事運営について
	第2回 土岐川庄内川流域委員会	平成15年6月5日	現状と課題について
	土岐川庄内川流域委員会 現地視察	平成15年7月28日	現地視察
	土岐川庄内川流域委員会 現地視察	平成15年7月31日	現地視察
	第3回 土岐川庄内川流域委員会	平成15年9月10日	現状と課題(治水)について
	第4回 土岐川庄内川流域委員会	平成15年12月15日	現状と課題(利水・環境・人との関わり)について
	第5回 土岐川庄内川流域委員会	平成16年3月5日	現状と課題について
	土岐川庄内川流域委員会 自然環境ワーキンググループ	平成16年6月17日	現状と課題(環境)について
櫛田川	第1回 櫛田川流域委員会	平成15年3月18日	議事運営について
	第2回 櫛田川流域委員会	平成15年6月20日	櫛田川の現状と課題について
	第3回 櫛田川流域委員会	平成15年9月30日	櫛田川の現状と課題について
	第1回 櫛田川流域委員会部会	平成15年10月20日	櫛田川の現状と課題について
	第4回 櫛田川流域委員会	平成16年1月26日	部会報告及び現状と課題(総括)

(注)平成16年8月1日現在のものである。

別紙十

河川名	懇談会等の名称	開催年月日	主要な議題
大井川	第1回 大井川流域首長懇談会	平成15年1月31日	現状と課題
	第2回 大井川流域首長懇談会	平成16年3月22日	課題とその取組状況について
鈴鹿川	鈴鹿川環境特性懇談会	平成10年2月9日	環境特性の現状について
	鈴鹿川環境特性懇談会	平成10年11月19日	鈴鹿川のあるべき姿について
	鈴鹿川環境特性懇談会	平成11年1月29日	環境特性の総括
雲出川	雲出川環境特性懇談会	平成10年2月2日	環境特性の現状について
	雲出川環境特性懇談会	平成10年11月16日	雲出川のあるべき姿について
	雲出川環境特性懇談会	平成11年2月2日	環境特性の総括

(注1)平成16年8月1日現在のものである。

(注2)菊川、木曾川及び宮川については、懇談会等は設置されていない。

課名	岐阜県	岐阜県	岐阜県	岐阜県
水系及び河川名	木曾川水系(管部地川)	木曾川水系(相川、大谷川、泥川)	木曾川水系(坂本川、千旦林川、湯川、中野方川)	木曾川水系(飛騨川)
①計画名称	一級河川木曾川水系長良川上流圏域(管部地川)河川整備計画	一級河川木曾川水系牧田川圏域(相川、大谷川、泥川)河川整備計画	一級河川木曾川水系木曾川上流圏域河川整備計画	一級河川木曾川水系飛騨川圏域河川整備計画
②策定年月日	平成15年3月20日	平成16年3月5日	平成13年1月5日	平成13年1月5日
③計画対象区間	(左岸)郡上郡白鳥町白鳥字赤畑265番地先、(右岸)郡上郡白鳥町白鳥字赤畑268番地先から長良川合流点まで	相川 養老橋から東海道新幹線橋下流まで 大谷川 相川合流点からJR東海道線(上り)橋上流まで 泥川 相川合流点から室原新橋まで	今渡ダムから上流の岐阜県内木曾川流域内の一級河川指定区間	圏域内すべての一級河川指定区間
④計画対象期間	おおむね20年間	おおむね5か年	おおむね30年間	おおむね30年間
⑤計画の目標	ア. 洪水等の災害防止・軽減等 おおむね30年に1回程度発生するおそれのある洪水を安全に流下できるよう河道を整備して、洪水による災害を防止又は軽減する。	平成14年7月台風6号豪雨に対し、大谷川洗堰からの越流を無くすことにより家屋への浸水被害を解消する。	おおむね10年に1回程度発生するおそれのある洪水に対して浸水被害を解消する。	昭和58年9月の洪水に対し、河川からの溢水による浸水被害を解消する。
イ. 流水の正常な機能の維持等	河川の適正な利用と流水の正常な機能を維持するため、現況の取水実態と流況の把握に努める。	流水の正常な機能を維持するため、現況の取水実態と流況の把握に努め、水利用の適正化を目指す。	今後、流況調査及び水利用実態調査を行い、必要と判断された地点については流水の正常な機能を維持するために必要な流量の設定を目指す。中野方川で流水の正常な機能を維持するために必要な流量は、万葉地点においてかんがい期最大0.163m ³ /s、非かんがい期最大0.140m ³ /sとし、その確保に努める。	流水の正常な機能を維持するために必要な流量について、流況把握等の結果を踏まえた上で設定する。
ウ. 河川環境の整備・保全等	水際や河床の自由度を確保して、自然の復元力により川自身が蛇行し、瀬や淵を形作ることができるよう配慮する。	現在の河川が有している豊かな自然環境については、治水とのバランスを考慮しつつ維持・保全に努める。	現況河道の変更を最小限に抑え、貴重な瀬・淵・中州を保全する。	現況の動植物の生息・生育環境を極力保全した形で存続させ、沿川住民が親しみを持てる川を創出する。
エ. その他	なし。	なし。	なし。	なし。
⑥主要な工事とその目的及び事業費	おおむね30年に1回程度発生するおそれのある洪水を安全に流下させる能力を確保するため、河道拡幅及び河床掘削により河積の拡大を図る。事業費については記載なし。	平成14年7月台風6号豪雨に対し、大谷川洗堰から越流を無くすことにより家屋への浸水被害を解消することを目的とし、堤防整備、橋梁の架替え等を行い、大谷川洗堰を既往最高水位(東京湾中等潮位:TP.8.85m)までかさ上げする。事業費については記載なし。	河道の疎通能力を確保するため、河道拡幅、河床掘削及び過度な湾曲を是正する。洪水調節、流水の正常な機能の維持及び水道用水の供給を目的として中野方ダムを建設する。事業費については記載なし。	下呂大橋地点において3,000m ³ /sの疎通能力を確保するため、築堤、河床掘削、堤防補強等を行う。事業費については記載なし。
⑦河川法第16条の2第3項についてとられた措置	岐阜県において、河川整備計画検討委員会にて学識経験者等の意見を聴取。	岐阜県において、河川整備計画検討委員会にて学識経験者等の意見を聴取。	岐阜県において、河川整備計画検討委員会にて学識経験者等の意見を聴取。	岐阜県において、河川整備計画検討委員会にて学識経験者等の意見を聴取。
⑧河川法第16条の2第4項についてとられた措置	岐阜県において、地域検討会及び河川整備計画原案の縦覧により、地元住民の意見を聴取。	岐阜県において、地域検討会にて、地元住民の意見を聴取。	岐阜県において、地域検討会及び河川整備計画原案の縦覧により、地元住民の意見を聴取。	岐阜県において、地域検討会及び河川整備計画原案の縦覧により、地元住民の意見を聴取。

県名	岐阜県	静岡県	静岡県	
水系及び河川名	木曾川水系(津屋川)	天竜川水系(一豊済川、上野部川)	天竜川水系(安間川)	
①計画名称	一級河川木曾川水系津屋川圏域河川整備計画	一級河川天竜川水系一豊済川(天竜川下流中遠ブロック)河川整備計画	天竜川水系安間川河川整備計画(天竜川下流西遠ブロック)	
②策定年月日	平成13年1月5日	平成14年9月3日	平成16年4月9日	
③計画対象区間	圏域内すべての一級河川指定区間	一豊済川(左岸)静岡県磐田郡豊岡村下野部字シブ平1786番の1の1地先、(右岸)磐田郡豊岡村下野部トイガヤロ1776番地先から天竜川への合流点まで 上野部川(左岸)静岡県磐田郡豊岡村上野部神田2358番地先、(右岸)磐田郡豊岡村上野部神田2353番地先から一豊済川への合流点まで	(左岸)浜松市豊町1454番地先、(右岸)浜松市豊町1465番地先から天竜川への合流点まで	
④計画対象期間	おおむね30年間	おおむね15年間	おおむね20年間	
⑤計画の目標	ア. 洪水等の災害防止・軽減等	昭和36年6月の梅雨前線豪雨等に対し、右岸無堤部での家屋の浸水被害を解消し、かつ左岸堤防の破壊による輪中内の家屋及び農地の浸水被害を解消する。	昭和49年7月の七夕洪水と同規模の出水に対し、洪水を安全に流下させる。	おおむね10年に1回程度発生するおそれのある洪水に対して、床上浸水を解消する。
	イ. 流水の正常な機能の維持等	現況調査による流量データの蓄積、水利用実態調査及び地下水の流動把握を実施し、取水実態等を踏まえた上で、流水の正常な機能を維持するため必要な流量を設定する。	現況流量を改善するための合理的な水利用を目指す。	流域全体における水循環系の仕組みについて考慮しながら、今後も平常時の流量確保を目指す。
	ウ. 河川環境の整備・保全等	水域と陸域の連続性、河畔林等や水生植物の繁茂する種やかな流れといった場所について保全及び復元していくことを目標とする。	現況の豊かな生態系をはぐくむ河川環境を保全・整備し、多様な動植物が生息・生育できる川づくりを実施する。	湧水のある「生きた川」としての特徴を有する区間を保全し拡大するとともに、現在の豊かな河川環境を今後も保全する。
	エ. その他	なし。	なし。	なし。
⑥主要な工事とその目的及び事業費	右岸無堤部では、家屋の浸水被害等の解消を図るため築堤等を行う。 左岸堤防部では、破壊による輪中内の浸水被害を防止するため、堤防の復付け等を行う。事業費については記載なし。	七夕洪水(昭和49年7月)規模の洪水を安全に流下させることを目的とし、河床掘削、引堤、築堤及び護岸整備を行う。事業費については記載なし。	河道の流下能力の増大を目的として、掘削、築堤、引堤及び護岸整備等の河道改修と、洪水のピーク流量の低減を目的とした遊水地整備を行う。事業費については記載なし。	
⑦河川法第16条の2第3項についてとられた措置	岐阜県において、河川整備計画検討委員会にて学識経験者等の意見を聴取。	静岡県において、流域委員会にて学識経験者の意見を聴取。	静岡県において、流域委員会にて学識経験者の意見を聴取。	
⑧河川法第16条の2第4項についてとられた措置	岐阜県において、地域検討会及び河川整備計画原案の縦覧により、地元住民の意見を聴取。	静岡県において、懇談会及び意見交換会にて地域住民の意見を聴取。	静岡県において、ワークショップ、意見交換会等及び河川整備計画原案の縦覧並びにホームページへの掲載により地域住民の意見を聴取。	

県名	愛知県	三重県	長野県	
水系及び河川名	矢作川水系(乙川、烏川)	鈴鹿川水系(足見川、芥川、椋川)	天竜川水系(新川)	
①計画名称	一級河川矢作川水系 乙川圏域河川整備計画	一級河川 鈴鹿川水系(指定区間)河川 整備計画	天竜川水系 諏訪圏域河川整備計画(新 川)	
②策定年月日	平成14年7月18日	平成13年1月5日	平成16年1月28日	
③計画対象区間	矢作川合流点から男川合流 点に至る乙川本川及び支川 烏川まで	鈴鹿川水系指定区間(県管 理区間)の全区間	(左岸)諏訪市大字湖南字水 戸代1443番の4地先、(右岸) 諏訪市大字湖南字湯田1525 番の6から諏訪湖まで	
④計画対象期間	おおむね30年間	おおむね20年間	20年間	
⑤計画の目標	ア. 洪水等の災害防 止・軽減等	昭和46年8月洪水に対し、破 堤及び溢水等による甚大な 被害を防止する。	おおむね5年に1回程度発生 するおそれのある洪水に対 して安全となるように整備する。 また、椋川においては、平成 7年5月と同規模の洪水に対 して被害を解消する。	おおむね30年に1回程度発生 するおそれのある洪水に対 し、家屋等への浸水被害を軽 減する。
	イ. 流水の正常な機 能の維持等	流水の正常な機能を維持す るための必要流量を確保する ように努める。 当面の段階的目標として、茅 原沢基準点でかんがい期約 2.5m ³ /s、非かんがい期約1.8 m ³ /sの流量を確保する。	今後、流量観測、動植物調査 等の諸調査を行い、維持流 量及び正常流量等の設定を 目指す。	流水の正常な機能を維持す るため、流域の取水実態や流 況等の把握に努め、正常流 量の設定については、今後調 査・研究を行う。
	ウ. 河川環境の整 備・保全等	河川整備に当たっては、現存 する良好な河川環境を極力、 保全・復元することを目標と する。	河道が直線化され流れが単 調となっている区間やコンク リート護岸等により自然環境 が損なわれている区間にお いては、治水支障のない範 囲で自然環境に配慮した河 川整備を行う。	河川整備に当たっては、多自 然型工法を取り入れること により、動植物の良好な生息、 生育環境の保全・復元に努め る。
	エ. その他	なし。	なし。	なし。
⑥主要な工事とその目的及び事業 費	昭和46年8月洪水と同規模の 洪水に対し、全川で計画高水 位以下に低減させるため、引 堤、築堤及び高水敷の掘削 等を行う。 洪水調節、流水の正常な機 能の維持及び新規利水開発 を目的とする男川ダムを建設 するとともに、上下流一体と なった効果的な洪水調節を行 うために遊水地を整備する。 事業費については記載なし。	計画規模の洪水を安全に流 下させるため、河道改修(護 岸工、築堤、河道拡幅、河床 掘削等)及びそれに伴う附帯 施設(堰など)の整備を行う。 事業費については記載なし。	洪水氾濫から家屋等への浸 水を防ぎ資産を守るため、築 堤、河床掘削、橋梁架替、護 岸等を行う。事業費について は記載なし。	
⑦河川法第16条の2第3項について とられた措置	愛知県において、流域委員会 等にて学識経験者の意見を 聴取。	三重県において、流域委員会 にて学識経験者の意見を聴 取。	長野県において、河川整備計 画策定検討委員会にて学識 経験者の意見を聴取。	
⑧河川法第16条の2第4項について とられた措置	愛知県において、説明会及び 河川整備計画原案の縦覧に より、地域住民の意見を聴 取。	三重県において、流域懇談会 及び河川整備計画原案の縦 覧により、地域住民の意見を 聴取。	長野県において、公聴会及び 河川整備計画原案の縦覧並 びにホームページへの掲載 により地域住民の意見を聴 取。	